

授業科目 保健医療福祉リスクマネジメント論

【担当教員名】 中山 和美、東條 猛、埴 佐敏	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護	
	開講時期	前期 a	必修選択	選択	
	単位数	1	時間数	15	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 < G10 > 保健医療福祉分野におけるリスクマネジメントを実施するための基礎知識と方法を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 < SBO > 1 リスクマネジメントの概念を説明できる 2 リスクマネジメントのプロセスと実践を理解し、説明できる 3 薬害被害者の体験談を聞くことで保健医療福祉分野での事故の重大性を実感し、適切な事故対策を選択できる 4 リスクに対する感性を磨き、リスク回避ができる医療人になる					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	【オリエンテーション】および【講義】医療安全とリスクマネジメントの概念		12	中山和美（看護学科）他	
2	【グループワーク】保健医療福祉現場におけるリスクを考える		124	担当教員 および ファシリテータ教員	
3	【講義】日本における薬害被害の実態		234	外部講師：佐藤嗣道（東京大学）	
4	【グループワーク】リスクセンス・トレーニング		24	担当教員 および ファシリテータ教員	
5	【講義】リスクマネジメントのプロセスとその実践		1234		
6	【グループワーク】リスクの分析を考える		1234	担当教員 および ファシリテータ教員	
7	【講義】病院における医療安全管理の実践		1234	外部講師；未定 (〇〇病院医療安全管理室)	
8	【リフレクション】保健医療福祉におけるリスクマネジメントのあり方・グループのふりかえり		1234	中山和美（看護学科）他	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし			
参考書		医療安全とリスクマネジメント	嶋森好子	ヌーヴェルヒロカワ	2,520円+税
その他の資料		その都度配布			
【評価方法】 出席は2/3以上を前提とする。 1. 授業への出席状況 40% 2. その他、グループワークへの積極的取り組みやレポート等が60% 授業中は積極的に発言すること。		【履修上の留意点】 授業は講義とグループワークを交互に実施する。 グループワークは、リスクマネジメント事例への適切な対応について、多領域からの話しあいにより時間内にグループ発表をおこなうものである。グループは受講者160名が5～6名程度ずつ30グループを形成し、3回のグループワークにおいて各グループのメンバーは変更しない。			